

加須屋勲さん (藤波) ねんりんピック県代表として活躍

第27回全国福祉祭とちぎ大会・ねんりんピック栃木2014が10月4日から7日にかけて開催されました。水泳競技県代表に、藤波の加須屋勲さんが参加し、優秀な成績をおさめました。

リレーの県代表として1番手が出場した加須屋さん。トップで次の選手につなげ、結果チームは3位に輝きました。個人でも50m背泳ぎに出場し、4位の好成績を残しました。

現在60歳の加須屋さんはねんりんピックに初の出場です。ことしの3月末で職場を退職したことから、練習時間を確保できるようになりました。ねんりんピックを今年最高のイベントに設定し、4月から練習に励んでいました。県の代表ということでプレッシャーを感じながらも大役を果たし「第二の人生の良いスタートになりました」と感想を話しました。



マスターズの大会にも30代から参加し続けています。さまざまな大会への挑戦については「競技を通じて交流でき、楽しかった」と振り返ります。

町水泳協会の副会長でもある加須屋さん。挑戦を続けてスポーツのすばらしさを伝えたいと、今後の決意を話しました。



※主催者、学校、スポーツ少年団などから提供があった大会の結果や案内を掲載しています。

第51回全能登中学校新人バスケットボール能登町大会 (10月4、5日)

〈男子の部〉第3位 能都中学校
〈女子の部〉第3位 松波中学校

第4回 能登町民 大運動会



町民大運動会は10月12日⑩、柳田植物公園を会場に開かれました。地区ごとに編成された17チームがリレーなどの対抗競技で点数を競ったほか、障害物競走など年齢別の個人種目を実施。約3,800人の町民が秋晴れの一日を楽しみました。

大会結果

優勝 上町
準優勝 不動寺 第3位 高倉
最優秀応援賞 三波



秋の味覚「きのこ」を堪能、食欲の秋を満喫

10月19日、五感まるごと能登づくし事業の秋の恒例イベント「能登きのこ祭り」が柳田植物公園特設会場で開催されました。朝から好天に恵まれ、たくさんの来場者が訪れました。きのこの量が心配されましたが、当日朝には地物のきのこ130点余りが出品され、特設会場のテントに所狭しと並びました。13団体のテナント「五感まるごと市」では、きのこご飯やきのこ汁、きのこうどん、きのこカレーなどのきのこ料理が販売されるとともに、能登牛ブロックの丸焼き、地ビール、イカ焼きなど、町の特産もたくさん並びました。会場に訪れた人は、出品されたきのこを購入したり、テナントで買った町のグルメをゆつくり楽しんだりしていました。

能登牛ブロックの丸焼きが人気を集めた



ずらりと並ぶきのこに興味津々の来場者

不動寺みどりの少年団員と一緒に植樹する中山さん (右)



記念撮影に臨む参加者

30年後のマツタケ産地夢見て アカマツ植樹

10月4日、国重で植樹イベントが実施されました。来年5月に小松市で開催される全国植樹祭を周知するために県内の各自治体で順に行われるものです。

性アカマツ300本を植えました。この日参加したのは、会メンバーや不動寺みどりの少年団員など住民60人です。雑木を伐採して明るくなった森にはあらかじめ穴が開けられています。その穴に高さを調整して苗を置き、丁寧に土をかぶせました。竹の支柱を添えて、マツの順調な成長を願いました。